

はと・ほし・つきぐみだより

3

新型コロナウイルスの流行が始まって3回目の春を迎えました。がらりと変わった日常の中で、子どもたちに対してできることは何かを考え、しっかりと健康管理・安全対策に取り組んでいきたいと思ひます。年度初めからの1年を振り返ると、子どもたち一人ひとりの成長が目に見えかびます。また、来年度に向けての準備も少しずつ進んでいます。年長さんを送り出す寂しさ、子どもたちが1つ階段を登る頼もしさ、新しい出会いが待っている嬉しさ、様々な感情が沸き上がってきます。1日1日を大切に、子どもたちと過ごしていきたいと思ひます。今年度、たくさんのご協力ありがとうございました。送迎時などお話がなかなかできない状況ですが、これからも子どもたちの成長を一緒に見守っていききたいと思ひます。

以上児クラス 今日子・長谷部・瑠璃・金崎・みなみ・孝太

ひなまつり

おひなさま制作の詳しい様子は、
[2月19日\(以上児\)のホームページをご覧ください。](#)



つき組さんの女の子がおひなさまの飾りつけをしました。



もも組さんが以上児クラスに来ています！

初めての以上児クラスに戸惑い、時には甘えてくるもも組さんを見つけると、「教えてあげる！」「こっちだよ！」とお手伝いをしてくれます。

年上の子どもは教えたりお世話をしたりする役割を担うことで、年上としての自覚が芽生えます。また、年下の子どもから慕われることによって自信にも繋がります。

「ありがとう！」「助かる～！」と先生から言われると嬉しそうな表情を浮かべる子どもたちです。

もうすぐ…！

いよいよ4月から、小学生になるつき組さんです！就学に向けて、3月からもも組の部屋で過ごしています。[\(詳しい様子は3月12日のホームページをご覧ください。\)](#)

みんなと過ごしてきた中で感じた嬉しさや楽しさ、壁にぶつかっても挑戦してきた経験を小学校でも発揮してほしいです。

卒園まで思い出たくさん作ろうね！



プラスの言葉がけで、子どもの心に栄養を！

子どもの気持ちに共感したりほめたりするプラスの言葉が多いと、子どもは「自分はけっこういい感じだ」「わたしはできる。やれる。」と思えるようになります。
↓ 自己肯定感が向上して…

何かにチャレンジするエネルギーや、壁にぶつかってもあきらめないでがんばる気持ち、友だちや先生をはじめ、人とのよい関係を作っていくようになります。

できるところをほめて、「自分はやれる！」という自信がもてるようプラスの言葉を心がけています。

プラスの言葉

- ・「〇〇してくれてありがとう。」
- ・「姿勢がいいね。」
- ・「優しいね。」
- ・「〇〇できたね。」
- ・「もうこんなにできたんだ。」

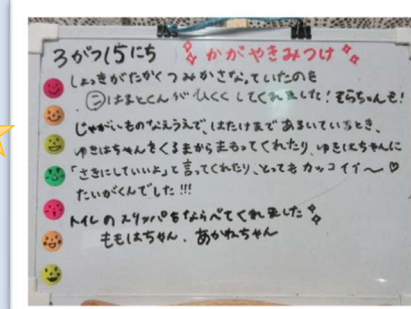
そこで

園では、先生たちが子どもたちの1日の様子を見て、輝いている姿をピックアップし、ボードに書いています。

夕方のお集りの時にみんなの前で伝えると、本人は喜んだ様子で、照れた表情をしています。先生だけでなく、お友だちにも認めてもらうことで、次への意欲に繋がっています。

大人にとっては当たり前のことのようにやっていることの中にほめどころはたくさんあります。

お家でも、小さなほめどころを探してプラスの言葉がけをしてみてください。



進級前の確認と

お願い

- 朝の基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき)は身に付いていますか？
- 登降園の際に、カバンや水筒は自分で持っていますか？
- 登降園の身支度は自分でできていますか？
- 持ち物の名前は消えていませんか？
- 服・靴のサイズは合っていますか？
- お家でタブレットなど見すぎていませんか？

お子さんと一緒に確認して、気持ち良く進級しましょう！